

【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2022年1月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: サンディエゴ州立大学 現地言語: San Diego State University
留学期間	2021年8月～2021年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年1月16日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月中旬～5月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	33778人
創立年	1897年

留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舍費	5800	660,000円	ホームステイ4.5ヶ月(食事付き)
食費	1200	130,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	250	28,000円	
現地交通費		40,000円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		300,000円	
被服費		50,000円	
医療費		78,000円	渡航ワクチン+PCR(25,000)
保険費		140,000円	形態:1学期分(明治大学の保険+SDSUの保険)
渡航旅費		130,000円	往復(経由あり)
ビザ申請費		46,000円	
雑費		100,000円	
その他		円	
その他		円	
合計		1702,000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:サンディエゴ 経由地:ホノルル 復路 出発地:サンフランシスコ 目的地:成田 経由地:ホノルル	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ZIPAIR, Alaska air 料金:80,000 復路 航空会社:Alaska air, ZIPAIR 料金:50,000 ∴合計:130,000	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:kiwi.com) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舍など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: _____) <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
インターネット	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
寮に泊まっていた友人達が口を揃えて言うことが、食事の準備の面倒さです。もちろん寮のキッチンで作れば安く抑えられますが、共有スペースのため使いたい時に使えないこともありますし調理器具を揃えなければいけません。そのため多くの友人が外食をしていました。それに比べてホームステイでは整った食事が出て、(自分の場合は)洗濯などもしてくれたので勉強や自分のしたいことに集中できました。またルームメイトも数人いたので交流もありました。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
外務省からのメールで情報を収集していました。 自転車のタイヤが盗まれました。現地の友人に助けを求めながら学校の警察に連絡しました。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
携帯は現地でSIMカード(T-Mobile)を購入して使っていました。Unlimitedのプランで月50ドルくらいです。学校では強いWi-Fiがどこでもあったので困りませんでした。家のWi-Fiは少し弱かったので、繋がずに使っていました。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
基本的にはクレジットカードを使っていました。 上限が来た時は親から口座にお金を入れてもらって使っていました。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
特になし(基本的に現地で揃えることができます)	

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 12 単位以上取る必要があります。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Asian Tradition 458	アジアの伝統
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jocelyn Killmer
授業内容	アジア圏の国の文化や伝統について学ぶ。
試験・課題など	グループでの課題がけっこうありました。また、広告を作ったりイラストを作ったりと独創的な課題が多かったです。
感想を自由記入	私の取った授業の中では一番好きな授業でした。グループでの活動が多いので友達ができやすく、またアジア人が多いので文化的に気が合う人が多かったです。課題についても独創的なものが多く、課題という意識なくできました。評価は比較的ゆるいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ENS 122 Surfing	サーフィン
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Mission Bay Aquatic Center
授業内容	サーフィンをする。
試験・課題など	まれにオンラインでのサーフィンに関する課題がある。
感想を自由記入	私はサーフィンをやっていたので特に新しく習うことはありませんでしたが、中にはできるようになるまで苦労している学生もいました。しかしインストラクターの方々が優しく楽しく教えてくれるので問題ありませんし、能力によるグレードへの影響もないので安心して下さい。ちなみにカリフォルニアの海は夏でもとても冷たく波は大きいです。冬の時期は行きたくないことも多かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Linguistics 100A	英語(ライティング・リーディング)
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Emmanuel Rodriguez
授業内容	英語のライティング、リーディングの方法を学ぶ
試験・課題など	ほとんど毎回課題が出されます。しかし、そこまで重いものではなく文章を読んで軽く意見を考えてくる程度のものでした。試験に関しては、エッセイを書きます。一度書いて終わりではなく、教授がフィードバックを何回か行ってくれて、最後に提出したものが評価されます。
感想を自由記入	ライティングに関しては力がついたと感じます。授業もとても分かりやすく、また一度やって終わりではないので良い授業でした。またこの授業は留学生用なので、世界各国からの留学生と交流ができます。同じ境遇にある留学生とは仲が良くなりやすいです。しかし基本的にはみんな英語には抵抗がなくともしやべります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Environmental Science/Sustainability 100	環境科学/サステナビリティ
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Matthew Weingarten
授業内容	身の回りの自然の仕組みについて学ぶ(理科基礎)
試験・課題など	課題はありませんでしたが、毎週小テストがありました。そのために毎回の授業を復習する必要がありました。
感想を自由記入	自分の中では一番時間をかけた教科だと思います。というのも一回の授業で取り扱う範囲が広く、小テストのために勉強する必要があったからです。小テストは選択問題ではないので少し難しかったです。グループでの課題は何個かありましたが、プレゼンが多かったので英語が第一言語ではない私には大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Special Study 499 (Japanese 411)	特別授業(日本語の TA)
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Asuka Kuratani
授業内容	日本語上級クラスで先生のアシスタントを行う。
試験・課題など	特になし。
感想を自由記入	日本語を学ぶ生徒の TA を行います。基本的に生徒のみなさんは日本の文化に興味があるので授業外でも一緒に行動することが多かったです。私の取ったクラスでは TA に対する課題や試験などはなく出席すれば単位をもらえます。やることとしては先生の説明の後の演習の手伝いや、グループに別れての音読の補助などです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:休学

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

特になし

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私はまだ就職活動をするつもりはありません。一年間休学をしてから自分の進路を決めようと思っています。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

トビタテに受かったので、休学し再び留学しようと思っています。自分が現在興味を持っている貧困問題について調べるつもりです。大学生は自分のやりたいことをとことん突き詰めようと思っているので、休学に対するネガティブな思いはありません。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入して

ください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	語学試験の勉強
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	選考
	4月～7月	ビザ申請、航空券購入
	8月～9月	ビザ取得、予防接種、滞在先の確保、渡航
	10月～12月	中間(10)、期末(12)
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がサンディエゴ州立大学を選んだ理由は、その立地にあります。サンディエゴはメキシコとの国境にあり(車で20分ほど)、ラテン文化が混ざった都市です。私は英語の上達と多文化理解を目標に考えていたのでサンディエゴは理想的な場所でした。実際に学校にも様々な人種の学生がいて、新しく学ぶことがとても多かったです。サンディエゴを選んだもう一つの理由として、私が日本での海の近くに住んでいることも挙げられます。私はサーフィンやビーチバレーなどを日常的にやっているので、マリンスポーツが盛んなサンディエゴでは地元の人や友人との交流のツールとなると考えました。実際にそれらのスポーツをやっている学生は多く、交流も増えました。

サンディエゴという街は概してとても暮らしやすい街だと思います。カリフォルニアの都市には他にサンフランシスコやロサンゼルスがありますが、それらの都市はもっと大きく「都会」というイメージです。そのためその分ゴミやホームレスも増え、治安が悪くなります。サンディエゴはそこまで大きくない街ですので、その分自然も多く街も綺麗な印象がありました。

サンディエゴ州立大学に関しては、とても活気がある大学でした。毎週末の夜に大学がスケートやハロウィンなど色々なイベントを開いてくれました。時には移動遊園地が来ることもありました。イベントは新しい友人を作れる機会なので積極的に参加していました。またキャンパスはとても広く、飲食店も多くありました。学校の寮に住む人がほとんどなので、キャンパス内で生活を完結させることができます。

最後に皆さんへアドバイス。実際に留学に行けるまでには本当にたくさんの時間と労力がかかります。辛いと思った時は YouTube でサンディエゴの街や大学を見てみてください。そこいって現地の友人と遊んでいる自分を想像してみると大変な準備でも頑張ろうと思えます。あくまで自分の体験談ですが参考にしてみてください。ありがとうございました。